

オンライン研修会 第9回 子ども支援セミナー

「コロナ禍における子ども達の支援」

【開催趣旨】

今回は開催自体が危ぶまれましたが、オンライン（Zoomでの講演を中心）にて子ども支援セミナーを開催することにいたしました。子ども達の生活を巡って、学校・家庭・地域社会はどのように協働を図ればよいのでしょうか。コロナ禍であるからこそ、参加者全員で考えたいと思います。

日時：令和2年 8月17日（月）
13：15～15：00

参加費
無料

基調講演：山野則子先生

大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科教授
スクールソーシャルワーク評価支援研究所所長

【講演者紹介】

山野則子先生はスクールソーシャルワーク（SSW）の実践・研究の第一人者として、「子どもの貧困対策に関する大綱」策定にも携われました。子どもの貧困や児童虐待、いじめ、不登校、少年事件など、子どもや家庭をとりまくさまざまな課題に学校を基盤として取り組むための新たな仕組みを提案されています。

山野先生のご尽力もありまして、全国の中学校区にスクールソーシャルワーカーが配置されて、子ども達のさまざまな問題に関して実践的な支援を展開されています。

【著書】

「子ども虐待を防ぐ市町村ネットワークとソーシャルワーク」（単著 明石書店 2009）

「エビデンスに基づく効果的なスクールソーシャルワーク」（編著 明石書店 2015）

「学校プラットフォーム」（単著 有斐閣 2018）

「子どもの貧困調査」（編著 明石書店 2019）その他多数



共催：関西福祉大学
赤穂市教育委員会
兵庫県社会福祉事業団赤穂精華園
兵庫県立赤穂特別支援学校
協力：兵庫県社会福祉事業団

開会【13:15~13:20】

開会挨拶：関西福祉大学 学長 加藤 明
司会：関西福祉大学 教授 八木 修司



基調講演【13:20~14:35】

演題：「コロナ禍における子ども達の支援～子どもを巡る学校・家庭・地域社会との協働、スクールソーシャルワーカーの役割も踏まえて～」

講演者：山野則子（大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科教授）

このコロナ禍において、子ども達の育ちはどのようになるのでしょうか。人は環境に大きく影響されます。乳幼児から高校生年齢まで、子ども一人ひとりの成長はさまざまですが、周囲の家族、学校の教職員、地域の人々の支えが必要です。こういう時期だからこそ、しっかりと考えていきたいと思っています。また、学校における新しい担い手であるスクールソーシャルワーカーの役割についてもお話したいと考えています。

質問の書き込み及び動画視聴【14:35~14:45】

- ・質問のある方は Zoom のチャット機能で書き込みをお願いします。
- ・学生の活動報告を動画でご覧ください。

- ↳ 関西福祉大学 社会福祉学部生 ゼミ報告
- ↳ スクールソーシャルワーカー教育課程 実践活動報告



質問への回答【14:45~15:00】

山野先生から質問された方への回答、解説をしていただきます。

時間の関係で全ての質問に回答できないことをご容赦下さい。

定員 300 名
定員次第終了となります

参加申し込み方法

- ・下記 URL または QR コードからお申込みください（関西福祉大学の HP にも掲載）
<https://www.kokuchpro.com/event/ab074f1539faabd96926b339ee0ce597/>
- ・申し込み完了後には「確認メール」が届きます。
なお、メールに記載された接続テストは、必要な方のみご利用ください。
- ・研修会当日までに zoom のアプリをインストールしてご準備ください。
- ・参加に必要な URL は、8月7日（金）までに改めてメールでお知らせします。



※なお、システムの管理上、同じメールアドレスを用いて複数名が申し込むことは出来ません。

学校単位でのお申し込みが必要な場合などは、以下のようにご入力ください。

名前（学校名）、参加者コメント欄（受講される方のお名前 ※人数分）

お問い合わせ（事務局）

関西福祉大学 附属地域センター
兵庫県赤穂市新田 380-3
電話：0791-46-2508（9:00~16:30）
E-mail：chiiki-c@kusw.ac.jp
担当者：八木 修司・作本 美保子



みなさまのご参加をお待ちしております